

# 一般質問

## 町民の声を代表して 9人が質問

議会には、議員が、町長や教育長に対し、町の仕事の状況や、将来の方針などを質問する一般質問があります。今回の議会では、9人の議員が、皆さんの中を代表して質問をしました。

に進める。

問 地元と連携した取り組みが必要である。お互いしっかりと協議していくことを確認する。

答 住民と協議し、ともに進めること。

問 地域と連携した利活用方針が必要だと思われるが、考え方を問う。

答 基本計画等の策定に係る補正予算を上程し、地域住民と十分協議しながら進める。

問 地元と連携した取り組みが必要である。お互いしっかりと協議していくことを確認する。

答 住民と協議し、ともに進めること。

問 旧歌垣小学校施設の利活用に向けたタイムスケジュールについて問う。

答 公共施設等総合管理計画に基づき、東地域の公共施設の再編、集約化し、新たな拠点施設として検討している。

問 法律第3条に、地域の実情に踏まえて実施する努力義務が地方自治体にはあるが、本町としてどのように取り組んでいくのか。

答 依然として本町においても部落差別が存在するとの認識することから、地域の実情把握と必要な

施策の構築に努める。

問 東地域の新たな拠点の整備について

答 旧歌垣小学校施設の利活用に向けたタイムスケジュールについて問う。

問 部落差別解消推進法の認識について問う。

答 国や地方公共団体が部落差別解消に取り組むための基礎となる法律であると認識している。

問 部落差別解消推進法の認識について

答 当然周知すべく、広報・インターネット・ホームページで周知していくべきであると思う。

問 地方公共団体が実施すべき施策の柱は、啓発・相談・教育など思われるが、認識を問う。

答 当然、取り組みを推進していくことを考えている。各種団体と連携しながら、取り組む。

一、東地域の新たな拠点施設の整備について  
二、部落差別の解消の推進に関する法律に対する認識について  
法律に対する認識について

岡本 ひとし

「知らない法律は、守れない」どのように住民に周知するのか。

